

# 夜間学校 釜ヶ崎 20周年記念

2/12 夜間学校より「喜望の家」階にて

## テーマ「釜ヶ崎の歴史」

### 足もとをきみつめなおすために

今まで夜間学校では、労働と病気を二本柱としてテーマを組んできました。これは、釜ヶ崎に住み、日雇をしていると日常的にぶつかるといえる問題が労働と病気に関することである以上、ともに話し合い、自分達で解決していく力を身につけていかなければならないと考えているからです。そしてこの二つは、釜ヶ崎日雇労働者にとって切りはなせない問題であり、したがって、この二本柱は今後とも変えることはないと思っています。

### 歴史をこする意味

しかし、日常生活を考える時、その背景となっている歴史も

らえなおす必要があるのでは、ということで今回は「釜ヶ崎の歴史(1)」をテーマにしました。すなわち、釜ヶ崎がなぜ今のようにな日雇労働者の街になったのか、昔はどうだったのか、「人夫出し」について話し合ったが、「人夫出し」制度はどうして出てきたのか、「人夫出し」をなくさないでダメだという声もありましたが、釜ヶ崎には「人夫出し」を相手にした揮かしい肉の歴史も多々あります。その肉にはどうだったのか、などなど、このせまに釜ヶ崎をこしてみても奥にさまざま歴史があり、そのひとつひとつが今の私たちにも決り、して肉の肉のな

りことではありません。

### スライドを見ながら

今日の夜間学校では、スライドを上映し、昔の写真をみながら話し合いたいと思います。釜ヶ崎も二十数年の間に大きく変わってきました。昔を思い出しながらつかしさを感ずる人もいることでしょう。長く釜ヶ崎にいらは、今晚の夜間学校に来て、昔の様子や、肉知り知っている出来ごとなどについて話して欲しいと思います。昔のことなどあまり知らない人は、その肉を聞くなかから、もう一度現在をみつめなおしていけたらと思います。多くの参加を呼びかけます。なお、「釜ヶ崎の歴史」はこれからシリーズで続けていくつもりです。

### 今月の予定

- ☐ 2月12日 (木) 「釜ヶ崎の歴史」
- ☐ 2月19日 (木) 「越冬と病気(3)」
- ☐ 2月26日 (木) 「労働について」

